月山病院小児科

住所　〒640-8269　和歌山市小松原通り1-3　電話 073-423-2300　FAX 073-423-4000
E-mail　tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www4.ocn.ne.jp/～tsuki-hp/(～はｷｰﾎﾞｰﾄﾞの@の上の ^ をshiftで変換。)

月山病院小児科では子供達そして御両親に有益な情報をお知らせするために毎月一回の院内報をだすこととしました。お役立て下さい。
なお御希望の方にはコピーを差し上げます。

今月の小児科診予定

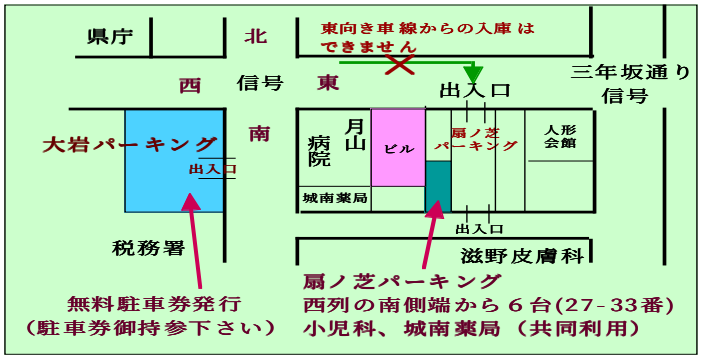
●３月１０日（土）の午後診および当直は結婚式出席のため小児科は休診です。
●３月６日、２７日は午後からは大学診察にて時間外対応できません。
●３月２０日(春分の日)は9-12時について対応します。
●３月２０日午後、２１日は出張のため時間外対応できません。

インフルエンザの動向について

今年のインフルエンザの流行には変化がありました。２月にはいってからぽつぽつと発症を認め、２月下旬現在ピークを迎えているようです。ただ流行としては穏やかであり、重大な合併症の報告も現時点ではほとんどありません。成人では新しいインフルエンザ治療薬が処方できますが、子供への投与については御相談下さい。

駐車場について

地図を目安に御利用下さい。扇ノ芝駐車場が便利です。



花粉に注意！！

花粉の季節となりました。2001年のスギ、ヒノキの花粉予測がでています。予想では花粉は大量飛散となるようです。喘息や鼻炎を始めとするアレルギー性疾患の方はお気をつけ下さい。
以下のアドレスを参照していただければ週間情報などが載っています。
http://event.yahoo.co.jp/docs/event/kafun2001/

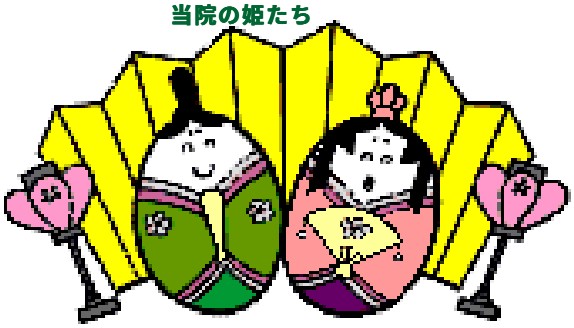
院外処方箋への移行について

現在お薬は多種多様化しているため、将来性と利便性を考え当院では2月1日より院外処方箋に移行しています。若干の手間をおかけしますが、よろしくお願いいたします。和歌山市内の薬局の所在については気軽にお問い合わせ下さい。地図をお渡しいたします。

喘息の予防

ゼイゼイはいろんな病気でおこりますが(前号参照)、その中に喘息と言われる病気があります。喘息は呼吸困難を繰り返す(発作といいます)慢性の病気で発作が一回でてしまうと少なくても1ヵ月間は発作が出やすい状態が続くとされています。（つまり完全に治っていない）この時期に発作をおこさないように予防することが将来喘息が完全に治るかどうかの重要な鍵となります。発作の時の治療だけでは喘息は治りません。しかし、予防処置を気長に行えば成人になるまでに喘息は治るのです。
具体的には、
1　喘息の原因を調べる（アレルギーなど）
環境との関連を調べたり、血液検査などを行う
2　原因をできるだけ避ける
ホコリなどの原因を避けるため部屋の模様替えや掃除の方法などを検討する
3　お薬を使用する
喘息のお薬には、発作のお薬と予防のお薬があり、予防のお薬（内服や吸入薬がある）を比較的長期（一ヵ月以上）に使用します。副作用が気になりますが、最初から長期投与を前提に作られている薬ですので、長期に飲むからといって副作用が強くでるというわけではありません。

今月の顔
当院の姫たち

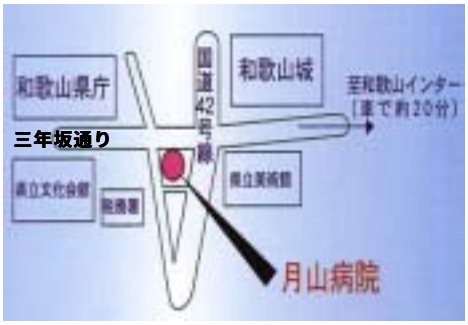


ホームページ！

月山病院小児科では患児や保護者の皆様にもっといろんな情報を伝えたい、速報性を持たせたいとの思いからホームページを作成しております。ぜひ、御活用下さい。

利便性の向上

当院では４月から日曜日（祝日は除く）の午後の日直を近畿大学付属病院の小児科の先生にお願いすることとしました。つまり日曜日は朝９時から１２時までは一般診察、以後午後７時まで時間外対応させて頂きます。また、防どうしても日曜日にしか予接種に来れない方には母親支援の一環として日曜接種を考慮しますのでお問い合わせください。



	月	火	水	木	金	土	日
午前9時-12時	●	●	/	●	●	●	●
午後2時-4時							
予約診(専門外来)	●	/	/	●	●	●	/
予防接種(予約)	●	/	/	●	●	●	/
午後5時-7時30分	●	/	/	●	●	●	/

祝日に関しては日曜日と同時間で対応